

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	河川情報事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	主管課長	中西 辰夫				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	三輪野山地区 南流山地区	意図	和田堀都市下水路、神明堀（流山1号幹線）の水位をリアルタイムで監視し予測される降雨状況に応じた体制をとる。
事業内容	・和田堀都市下水路、流山排水機場、神明堀（流山1号幹線）の水位監視装置の保守及び点検。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象予報の降雨予想に基づき水防活動を実施していたが、近年の多発するゲリラ豪雨に対応するため浸水危険箇所水位計を設置することとした。</li> <li>・浸水被害が懸念される三輪野山地区及び南流山地区に水位監視装置を設置したことにより24時間体制で水位観測を行い、迅速な水防活動が可能となった。</li> </ul>			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	通報回数	18	17	18	回
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川課職員全員が携帯電話で水位警報を受信することにより早期出動、参集ができる。</li> </ul>	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	444,655	430,392	430,194
事業費(b)(円)	294,055	293,092	295,954
うち一般財源	294,055	293,092	295,954
職員給与費(c)(円)	150,600	137,300	134,240
人役・職員(人)	0.02	0.02	0.02
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

・三輪野山地区と南流山地区の水位監視により、最近多発するゲリラ豪雨等に対し早期に水防活動が行えている。

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム実効性の検証を行う。</li> </ul>	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水位監視PCの脆弱性への対策を行う。</li> </ul>
②今年度(H29)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出水期前に通報情報の現地検証を行った。</li> </ul>	④今後(H30以降)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水位監視PCの更新を行う。</li> <li>・和田堀都市下水路新樋管築造箇所に水位計と監視カメラを増設する。</li> </ul>